

事業所名		きらきら星				支援プログラム		作成日		2025 年		2 月		1 日	
法人（事業所）理念		ハンディキャップを持った子どもたちが、地域社会の中でふつうに暮らせることを願い、必要な支援を行う。													
支援方針		子どもたちが可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭に置いて、日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう適切な支援を行う。													
営業時間 （サービス提供時間）		平日	14 (下校後)	時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり（必要に応じて）			
		学校休業日	9	時	0 分	から	15 時	0 分	まで						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	体調・情緒の安定・全身の清潔等について観察し、必要に応じた支援をする。自分の食べるものへの興味、関心を促す(食事作りやおやつ作り) 基本的な生活スキルの獲得(食事・排泄・着替え・身の回りを清潔にすること等) 障害の特性に配慮し、時間や空間を構造化し、本人にわかりやすく提示する													
	運動・感覚	着席時の姿勢の保持、視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用できるようなゲーム等の遊びを通した粗大運動の支援 様々な素材を使用した工作等の創作活動を通した微細運動の支援													
	認知・行動	小集団での遊びや関わりの中でルールを守り行動できるように支援する 時間・数の概念など認知発達を促す環境設定(スケジュールや時間の視覚化)													
	言語 コミュニケーション	年齢や能力に合わせて遊びの中で文字を読んだり書いたりする機会をつくる 文字・絵カード・写真カード等の適切なコミュニケーション手段を選択し活用する 自分の気持ちを伝える方法やことばを習得できるように支援する													
	人間関係 社会性	信頼感を育み、周囲の人と安定した関係を築けるよう支援する 役割分担のある遊びやお手伝いを通して協力し合って活動できるよう支援する													
家族支援		面談や送迎時に家庭での様子や困りごとについて聞き取りし、必要情報の提供や助言を行う 相談支援員との定期的な支援会議をし、必要に応じて情報共有をする						移行支援		必要に応じて学校での様子を見学したり、学校との情報共有をする 具体的な移行先との調整及び支援内容等の共有をする 併用利用の場合利用日数等の調整					
地域支援・地域連携		教育機関・医療機関・児童相談所・行政等との連携 自立支援協議会への参加 他事業所との交流と情報交換						職員の質の向上		事業所内部研修、外部研修への参加奨励 児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者養成研修、その他の資格取得の支援等					
主な行事等		季節のイベント(七夕・ハロウィン・クリスマス会・節分・ひな祭り・卒業を祝う会等) 誕生日会・社会体験(買物学習・外食等) 避難訓練(地震、火災、水害、年2回以上)													